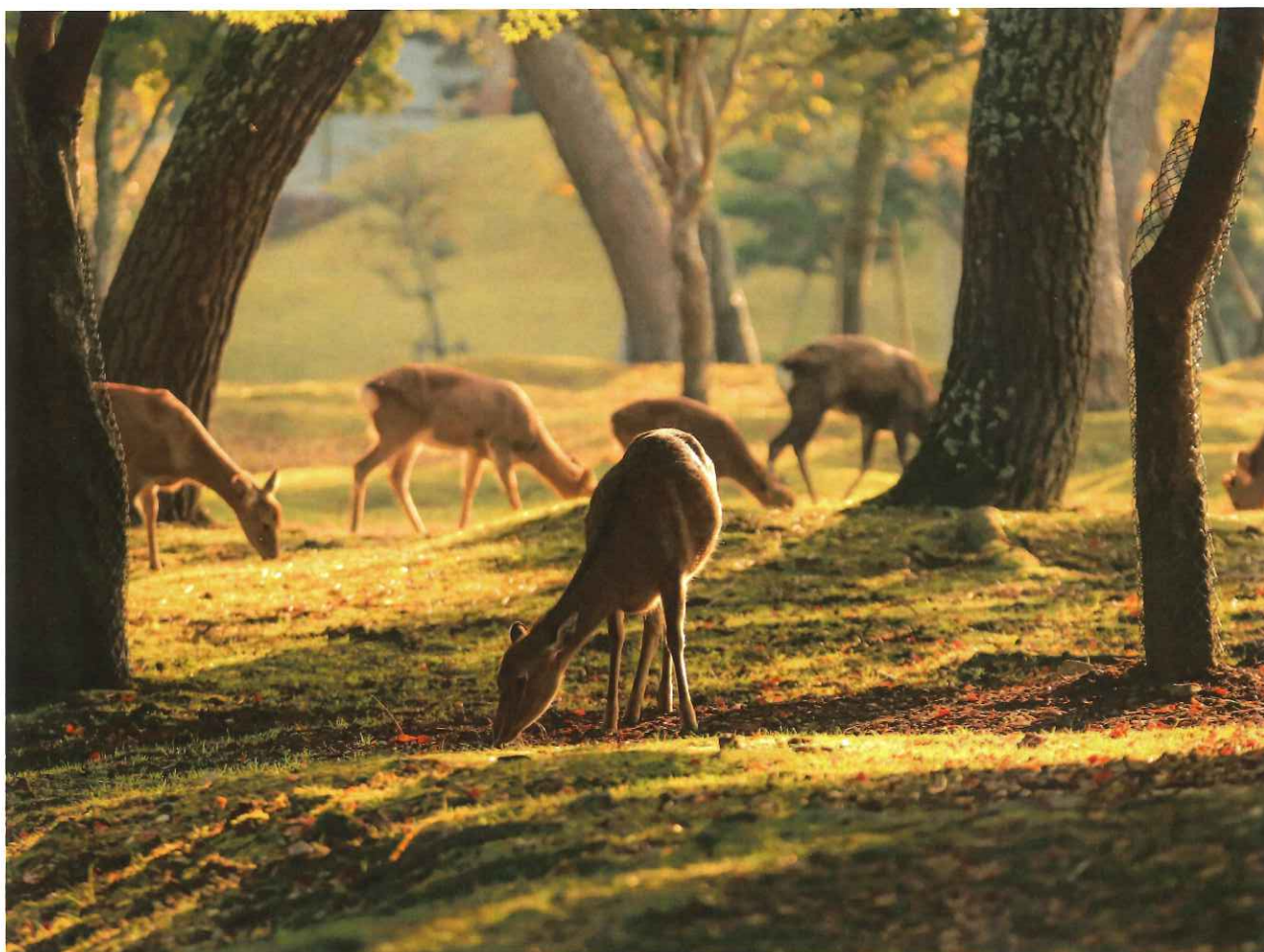


にっせんかい

日扇会ニュース



地域の皆様と日扇会の意見交換・情報提供のための紙面です



(奈良公園の鹿)

インフルエンザ予防接種のお知らせ

インフルエンザは、例年11月頃から翌年3月頃にかけて猛威をふるいますが、今年は例年に比べ流行が早いと思われ、流行する前に接種することをお勧めします。予防接種は接種してから、その効果が現れるまで通常2～3週間かかります。

一方、ワクチン入荷がやや不安定になることも予想されますので、今年は予約制ではなく、ご来院頂いたときに接種させて頂くことを原則としております。できれば、事前に「医事課」にお問い合わせください。なお目黒区民の方は、区からの用紙をご持参ください。



「病院機能評価」更新の認定について

2019年5月、日本医療機能評価機構（以下、「機構」という。）から4回目の認定をいただきました。といいましても機構とは？と思われる方もおられることでしょう。

そこで今回は「認定を取得する目的」等について、少し説明させていただこうと思います。

■1 同機構は「病院のすべての機能を、学術的観点から中立的立場で評価する」ことを20年来業としている公益財団法人です。



我々病院としても常に自助努力はしている積りですが、機構のような第三者の目で「当院のレベル（質）」を客観的に審査していただくことは、日扇会にとっては勿論意味のあることですが、患者さんにとってもより「安全・安心」感を持っていただけのではないかと、思っております。

■2 少し専門的になりますが、機構が具体的に「何を、どう審査・評価しているのか」について見てみましょう。

機構は、病院全体を4つの評価対象領域（下記、第1領域～第4領域）に分け、夫々の領域に中項目（16）を設定しており、その中項目をさらに90の小項目に分けて、小項目（90項目）毎に審査・評価をしています。そして1項目毎にS, A, B, Cの評価を行い、C（一定の水準に達しているとはいえない）が1つでもあれば認定または認定留保を個別に判断します。即ち、4つの評



価対象領域に係る90項目夫々が「患者さんにとって、十分機能を果たしているか」が厳しく審査・チェックされているといえます。

因みに中項目を記しますと、第1領域は①患者の意思を尊重した医療、②地域への情報発信と連携、③患者の安全確保に向けた取り組み、④医療関連感染制御に向けた取り組み、⑤継続的質改善のための取り組み、⑥療養環境の整備と利便性～という構成になっており、第2領域は①診療・ケアにおける質と安全の確保、②チーム医療による診療・ケアの実践。そして第3領域は、良質な医療を構成する機能（薬剤、検査、放射線、栄養管理、輸血など）、第4領域は、病院の運営、研修、施設・設備、危機管理など、となっています。

なお、機構では日本国内の各種病院を7つの機能種別分類しており、当院はその内の「一般病院1」に該当していますが、病床100床未満の病院（当院は70床）の機構認定率は2019年3月末で8.7%とのことです。



理事
藤田 克明



■3 機構の審査・評価の更新期間は5年毎ですので、当院は審査を20年連続パスしたことになりますが監督官庁や機構のアドバイスを消化しつつ、更に信頼される「かかりつけ医」を目指して参ります。今後とも皆様の暖かいご支援、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

介護療養病棟について

介護療養病棟師長代行 立花さちこ

■1 療養病床について皆様は、どのような印象・イメージをお持ちでしょうか。

以下、簡単ですが「介護療養病床」について、お話しさせていただきます。

療養病床とは急性期治療を終え、長期にわたり療養を必要とする患者さんのための病床で、療養病床には2種類あり、国はこれらを統合させることを目指しています。

2種類の一つ目は「医療療養病床」です。患者さんが慢性期の状態にあって、介護療養型よりも多くの複雑な医療処置の必要がある患者さんを受け入れています。

二つ目は「介護療養病床」です。介護療養病床は、要介護と認定された患者さんに対するサービスを介護保険でご提供する病床です。ただし必要に応じて、医療も受けられます。

当院は、この二つ目の「介護療養病床」を設置しております。

■2 当院の介護療養病棟は24床、介護士11名と看護師8名でお世話をさせて頂いております。前述いたしましたように介護療養病棟の入院患者さんは、急性期治療を終え病状は安定した方がほとんどです。しかし、寝たきりの患者さん、発語が困難な患者さん、認知症の患者さんなど、ご自分の意見・意思を上手に伝えられない患者さんも多くいらっしゃいます。

治療の場というよりは、長い療養生活をおくる「生活の場」なのです。患者さんの長期にわたる療養生活による身体的・心理的な苦痛を伴わない、豊かな生活ができるように援助することが私たち看護師・介護士の最大の役割です。

医師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語療法士、管理栄養士、薬剤師との連携を密にし、患者さん一人ひとりの状態に合わせて専属のケアマネージャーがケアプランを作成します。そして、そのケアプランに従い患者さんとそのご家族と十分連携を取り、本人・ご家族のご希望に添えるよう努めております。

■3 このように私たち介護療養病棟のスタッフは、患者さんとその周りの職種を有機的につなげる連携役となり、患者さんの生活の質を守りながら療養ができる環境を整えております。

「余生をどのように過ごされたいか」、「どのような最期を望まれるか」～等に関して、患者さん本人・ご家族と良く話し合い、その方らしい生き方を援助していくことが介護療養病棟の看護師・介護士全員の役割であり、使命だと重く受け止めております。

■4 患者さん・ご家族が少しでも安心して療養生活を送っていただけるよう、今後とも日々努力を重ねてまいりますので、どうぞ安心してご入院していただきたいと思っております。



い ん な い

院内！レー



日扇会第一病院には大勢のファンがおられます

リハビリテーション部 通所リハ 理学療法士 小島 美幸

日扇会第一病院には、大勢のファンがいらっしゃいます。私は入職してからまだ1年になりませんが、ファンの皆様から「元気」をいただいておりますので、その一部をご紹介します。

G様：「私は50年以上通っているの。夫を自宅で看取った時は、往診していただいたの。良く診ていただいた。今でも先生にお会いすると、その時のことを思い出して、涙が出そうになるの。」

I様：「もともと、女房の親が通っていた。今は自分が診てもらっている。」

K様：「職員の皆さんが、いつも笑顔でむかえてくれるから、うれしい。」

ご家族A様：「今は（夫が）通所リハビリを利用して、将来的には短期入院を利用したい。入院病棟があるから心強い。安心。」

ケアマネB様：「担当の患者（利用者）様が他の病院から（当院へ）転入院。3か月くらい入院予定と聞いていたが、経過良好で1か月ほどで自宅退院となった。入院当初、食事はトロミ付きだったが、適切に治療していただき、退院時には常食になった。とても信頼できる。これからも他の利用者様に紹介したい。」

以上のようなお言葉をいただけたのは、これまで地域を守ってこられた医師をはじめとした諸先輩職員のおかげだと思っています。

そして、これからも日扇会第一病院が発展し、地域医療に貢献できることを願っている一人です。

そして私自身も、これまでと同様、日々誠実に丁寧にリハビリ業務をおこなっていくことで、「元気」をくださっている地域の皆様への御恩返しをさせていただきたいと思っています。



編集発行人

医療法人財団 日扇会

〒152-0031

目黒区中根2-10-20

TEL：03-3718-7281（代表）

FAX：03-3718-7736

ホームページアドレス：

<http://www.nissenkai.or.jp/>

季刊紙 発行日：10月31日

理 念 医療は患者さんのために存在する

使 命 患者さんの「かかりつけ医」として地域医療に貢献します

基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と人格を尊重した医療を行います
2. 私たちは、プロとしての責任と誇りをもって自己研鑽に励みます
3. 私たちは、病院全体の力を結集して患者さんを支えます
4. 私たちは、信頼される医療を継続するため徹底したリスク管理を行います
5. 私たちは、全職員が思いやりとやりがいを持って医療を行う
活気ある病院を作ります
6. 私たちは、担うべき役割を将来とも継続的に果たすため、
安定した経営を維持します

